



< 開催概要 >

展示会名称 SIGGRAPH ASIA 2018 TOKYO
会 期 カンファレンス 2018年12月4日(火)~7日(金)
展 示 会 2018年12月5日(水)~7日(金)
会 場 東京国際フォーラム(有楽町)
主催 ACM(米国計算機学会)
運営ケルンメッセ株式会社(東京)

< 主な出展対象品目 >

アニメーション、ゲーム、バーチャルリアリティ/シミュレーション、ビジネス/PCグラフィック、CAD/CAM/CAE/CIM、デスクトップ/その他パブリッシング、デジタルイメージング、グラフィックデザイン、ウェブ、プロセッサ、モニター/ディスプレイ、プロジェクター、HDTV、マルチメディアツール/アプリケーション、スキャンコンバータ/スキャナー、サイエンティフィックビジュアライゼーション、スペシャルグラフィック、グラフィック/デベロップメント、ストレージシステム、ワークステーション、デジタルサイネージ、ロボティクス/ガジェット、ビジュアルコンピューティング・プリンター、オンラインネットワークサービス、インターフェースツール、モバイルコンピューティング、モーションキャプチャー

< 過去の実績 >

2016年 - マカオ : 来場者 5,217、出展者 60 社
2015年 - 神戸(日本) : 来場者 7,050、出展者 91 社
2014年 - 深圳(中国) : 来場者 5,968 人、出展者 45 社
2013年 - 香港(中国) : 来場者 6,078 人、出展者 96 社
2012年 - シンガポール : 来場者 7,000 人、出展者 130 社
2011年 - 香港(中国) : 来場者 7,734 人、出展者 122 社
2010年 - ソウル(韓国) : 来場者 9,000 人、出展者 102 社
2009年 - 横浜(日本) : 来場者 6,424 人、出展者 71 社
2008年 - シンガポール : 来場者 3,389 人、出展者 81 社



<シーグラフアジア日本開催時の特徴>

□ 世界への情報発信。全世界が注目

他の国では平均 20 カ国以上から 45 媒体にて記事数 100 以上掲載されています。日本での開催時には 3 倍に膨れ上がります。(広告料: 3 億円に相当) 英語・日本語ホームページ (ユニークユーザー数: 平均 30-40 万件。日本開催では 70 万 (ページビュー 95 万件) と一気に注目度があがります。

□ 高い質のビジネスプラットフォーム

5 割以上が購買影響力を持つ来場者

□ スポンサープログラムをはじめ、豊富な PR・プロモーションメニュー

出展者のプレゼンスをあげる最も効果的なメニューをご提供。スポンサーシッププログラムは費用対効果の大きなパッケージです。お早目にご相談ください。省庁、自治体、学校、業界団体の強力なバックアップによる広範囲に渡る告知が行われます。国内外のテレビ局取材にも対応。

